

アジアやアフリカの観光地では物売りの小さな子が「旅人相手に数か国語あやつてゐるこゝもしばしば」。
ダメ元で何倍もの値段ふっかけてきたり。ミャンマーでは仲良くなった子の家で一緒にご飯を食べたこともあったな。

自問自答

その16

かせ 令和5年7月10日(月)
発行人: お金を稼ぐ、というのが

広島市立己斐上中学校 進路通信

どれだけ大変かっていうのが少しは伝わったかしら...



もしもあの時、スカウト
されていたら、の巻

今頃皆さんは、どんな経験をしてるんだろうなあ、と思い
ながらこれを書いています。

職場体験、本当にお疲れ様でした。楽しかった？

みんなにはね、これから先の人生で、色々な経験をしてみたいなあと思っています。私の場合は「先生になりたい」って思っていたから、全ての経験は先生をやる上で役に立つだろうなあってことで、色々やるようにしていました。

前回、大学時代のアルバイトについて書いたけど、バイト以外で面白かったのが、実はある劇団に2年くらいかなあ、所属したことがあるのね。面白半分で受けた入団試験(パントマイムとか。「あなたは花屋さんに行きました。色々花を見て決めたあと、会計の時に財布を忘れたことに気づきました。」を演じてください、とか)に受かって、そこからしばらくの間、レッスンに通ってました。

で、当時、偉人を紹介する「知ってるつもり」っていう番組があってね、「太宰治」がテーマのとき、太宰の幼少期に、太宰の家で雇われていた「下男・下女」役の一人として出演しました(笑)。セリフなし、ふざける太宰少年を見て笑うというシーン、あと、鍋をつつくシーンだったかなあ、収録するために緑山スタジオに行ったのを覚えています。これが私のデビュー作、兼、引退作(ー-)

ちなみにこの時のギャラは5000円。劇団に1割引かれ、4500円が振り込まれた。

この時感じたのが、芸能(演技・TV)の世界で生きていく厳しさ。同じ劇団にとんでもなく演技の上手い人がいた。一つの同じセリフを、「少年の感じで」「中年の感じで」「老人の感じで」と言われたらその場ですぐに演じ切る。聞いてて鳥肌が立つくらい。でも仕事がまわってくるかというとなんか甘くはない。東京だけでも劇団が何十・何百とあって、その中に演技の上手な人が何十人・何百人といて、芸能の世界だけで食べていけるのはほんの一握りの人だけ、なんですよなあ。

だからその劇団に通っている人も(多くの方がデビューを目指してた。)、みんなアルバイトしながら何とか生活してるって感じ。で、いつの間にか辞めていなくなっていく。私は大学4年生になったら辞めると決めていたので、実際4年生になったときに退所届を提出。

正直言うと、収録に行ったとき、オイオイ、このままプロデューサーの目に留まり、芸能界にデビューして、芸能生活が始まっちゃったらどうしよう(/・ω・)/などと妄想したこともあるが、冷静に考えてみたら、セリフなしのチョイ役が目にとまるわけもなく(笑)、無事退所となった。このとき同じ劇団の人で、農民役の一人として出演した兄ちゃんは、オンエアですぐ自分だとわかるよう、勝手に顔に泥をつけて収録に臨んだが、実際のTV放送では下半身と腕しか映っていなかった。あははははは。

ということで、皆さんがこれからする経験は、すべて自分の財産になるよっていうお話でした。

いつかしてみたい旅は「おつたび」、ある会社が仕組みを作って、日本各地で短期的・季節的に人手不足とい
行ってお手伝い。旅費は出ないが寝るには用意してくるらしい。お手伝い×旅で「おつたび」というわけだ。

自問自答

その17

広島市立己斐上中学校 進路通信

も
令和5年7月14日(金)
発行人: キャンピングカーで現地まで行って
お手伝いをして お給料を頂く。
これなら日本中を旅できそうだなあ...



この夏の過ごし方が
人生変えちゃうかもよ。

皆さん! 夏休み前、最後の自問自答です。早いですね~(°Д°)
というわけで、今回はこれからの見通しについての確認です。

★オープンスクールへの参加

参加すべし! 以上!! さもなくば、そなたはきっと後悔するであろう。

★8月30日 第2回実力テスト(公立入試を見据え、一日で5教科+自己表現下書き やっちゃうよ編)

備えあれば憂いなし(読めなきゃ調べなさい)、本番形式で練習します。裏面に自己表現の用紙を印刷
しているの、夏休みの間に一度書いてみるといいね。というか書く。(用紙は別途、配付します)

★第2回進路希望調査表への記入・提出(8月25日提出。調査表は懇談会で渡されます。)

いよいよ思いを具体化する時期になりました。夏休みの間にしっかりと、これから先、自分が何をしたいの
か、どんな18歳になりたいのか、そのためにどこへ進学したいのか、など自問自答を繰り返してみよう。

中学校、最後の夏休み。これほどのまとまった時間を有効に使えるのはラストチャンスです。「二兎を追
者は一兎をも得ず」と昔から言われています。がっつり学習に打ち込むのか、それはあなた次第です。

ちなみに私は欲張りな方で、どちらかと言うと、二兎を追ってどうにか二兎を得る方法はないものでな
か、,,あわよくば「棚から牡丹餅」的に、二兎を追うことで三兎目が転がり込んできても、「何と運のいい、
有難く頂戴いたします。でも小心者なので欲張らないようには心がけます。」と言って受け入れるタイプ。

教員採用試験を夏に控えた最後の春休み、本来ならがっつり学習をせねばならないのだが、どうしても
旅にも出たい私は「そうか! 旅先で勉強すればいいじゃん!!」と至極(しごく)当たり前のように気づき、
リュックの半分には問題集を詰め込み、メキシコに旅立った。

日中は観光して、夜には安宿近くのカフェに夜な夜な通って、一番奥の席に陣取り、問題集を開く。その
うち店員と顔見知りになって、席に着くや否やコーヒーマグが運ばれるように。今日は違うのを飲みたいなあ
て気分転換の時に、どや顔で「ほらっ、お前はこれだよな」的にコーヒーマグが運ばれてきて、心では「違うんだよ
〜、今日は他の飲みたいんだよ〜」と思っても、決して顔には出さず笑顔で「グーグー」と。つくづく日本
人だなあと思いながらコーヒーマグを啜(すす)っていたことを覚えている。

というわけで、自分のタイプに合った、自分の学び方でこの夏を乗り切ってね。自分に合った学び方を見
つける(再発見する)夏になっても構いません。自分に合った学び方を身に付けておくと、何かと人生楽し
くなるんじゃないかなあって思います。勿論、年齢を重ねるとともに、自分に合った学び方も変化するかも
しれないし、まあ、人生ってのは、一生「学び」が続くもんなのでしょう。どこへ行っても、何をしても。